|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ４年２．６５ | ７  | 式の計算の順じょ | 　　　組　　　番名前（　　　　　　　　　　　　　） |



次の問いに答えましょう。

　①　次の計算をしましょう。

㋐　６３÷（２１÷３）　　　　　　　　　　　　㋑　５×９－８÷４

＝４５－２

＝４３

＝６３÷７

＝９

４３

９

　　　　　　　　　　　　　　　　答え（　　　　）　　　　　　　　　　　　　　　　　答え（　　　　）

子ども会に１４人のこどもがいます。子ども１人につき、プレーンクッキー２まい

とチョコクッキー３まい配ります。配るクッキーは、ぜんぶで何まいになりますか。

②

この問題の答えをもとめるときの正しい式を、次のア～エからすべてえらび、記号に○をつけましょう。

ア　１４×２×３　　イ　２×１４＋３×１４　　ウ　（２＋３）×１４　　　エ　１４×（２＋３）



　　ゆうきさんの住む地区で、夏祭りがありました。ゆうきさんは、そのことを日記にかきました。

きのう夏祭りがありました。たくさんの人が来ていました。今日の新聞に、おとなが１９８人、

子どもが２４５人来ていたとかいてありました。

祭りで、いちばんもりあがるのが、おみこしです。おとなの人が、自分で作ったおみこしを

４人１組でかつぎ、１２００ｍの道路を走ります。今年は、きょ年よりも３組ふえて、19組がさん

かしていました。どのおみこしもかっこよかったです。ぼくも、いつかおみこしを作りたいです。

　祭りでは、出店がたくさん出ていました。かき氷やさんでは、３５０円の太陽のたまこ味が

８２こと、３２０円のめろめろメロン味が９５こ売れたそうです。

ぼくは、おこづかいを１０００円もらったので、１回２５０円のしゃ的を１回と、１回１５０円の金魚

すくいを２回しました。金魚が３びきすくえました。らい年の夏祭りが待ち遠しいです。





（１）ゆうきさんは、下線の部分について、おつりをもとめる式を考えています。

**遊んだもの**しゃ的１回　　金魚すくい２回

**の代金**２５０ 　＋　 １５０×２　＝　５５０

**おつり**出したお金　　遊んだものの代金

　　　　　　１０００ －　　５５０　＝　　４５０

**答え**４５０円

１回２５０円

１回１５０円

ゆうきさんは、上の図をみて、次のように言いました。

おつりをもとめる式は、出したお金 － 遊んだものの代金 なので、上の２つの式は、

**１０００－２５０＋１５０×２**　というように、１つの式で表すことができます。

ゆうき

ゆうきさんの式では、おつりが４５０円になりません。

（　　　　　　　）

**１０００ － ２５０ ＋ １５０ × ２**

おつりの４５０円が正しく求められるように、右の式に

（　　）をかきいれましょう。

（２）ゆうきさんの日記をみて、先生が式をつくりました。この㋐、㋑の式はそれぞれどのような数をもとめているかを説明しましょう。

　　㋐　３５０×８２＋３２０×９５　　　　　　　　　㋑　４×（１９－３）

（例）きょ年、おみこしにさんかした人数。

（例）かき氷屋で、太陽のたまご味とめろめろメロン味のかき氷が売れた合計金がく。